

会 報

事務局

北海道千歳高等学校

〒066-8501

千歳市北栄1丁目4-1

TEL 0123-23-9150

FAX 0123-23-2742

~~~~~ 卷 頭 言 ~~~~~

ネットワークを生かした学校運営の充実

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会長
北海道有朋高等学校副校長 古 屋 順 一

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会会員のみなさまには、日頃より当部会の運営、並びに諸事業の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、北海道教育委員会、北海道高等学校長協会をはじめとする関係諸機関のみなさまには、多大なるご支援とご指導を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、オリンピックイヤーとなるはずであった2020年が、新型コロナウイルスとの戦いの一年となり、今もなおその戦いは続いております。ウィズコロナ、ポストコロナ時代を見据えた、新たな働き方や社会のあり方について、内外の各方面で活発に議論されているところですが、学校におきましても生徒・教職員の日常的な健康管理、安全管理はもとより、リモート授業の推進等、コロナ禍が引き金となりこれまでとは全く異なる新たな対応を日々迫られています。まだまだ当分の間この戦いが続くことを踏まえ、各学校とも生徒が安心して通い学べる場であり続けるよう、迅速かつ適切な対応をすることが私たちに課せられている最大の使命です。しかし、誰しも初めての経験であり、過去の参考事例もなく、さらにスピードを求められる処理がほとんどであり、管理職としての判断の難しさが常にあります。こんなときだからこそ、本部会のネットワークを最大限に生かし、各学校間で知恵を共有しながら最適な解を見つけていくことが大切だと思います。

一方、道内の定時制・通信制高校では、少子化や進路選択の多様化等の影響から、多くの高校で生徒募集に苦慮している実態があります。学びのセーフティーネットとして、定時制・通信制高校には重要な役割があり、社会からの期待も大きなものがありますが、これまで以上に定時制・通信制ならではの強みやメリットを広く理解してもらえるような工夫が求められています。道教委の「北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ事業」では、生徒の多様なニーズに対応する定通教育の改善・充実に向けての研究が進められていますが、ここで得られた研究成果等も視野に入れながら、より社会の期待に応えられる定時制・通信制高校を目指すために、本部会でのネットワークを十分に生かしていただければと考えております。

終わりになりますが、各地の地域事情や生徒の実態に即した教育活動の一層の充実・発展を期待するとともに、この一年間のみなさまの多大なるご協力に感謝を申し上げ、巻頭の辞とさせていただきます。

コロナ禍における定時制・通信制教育の充実

北海道高等学校長協会 定通部会長
北海道有朋高等学校長 元紺谷 尊 広

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の皆様には、日ごろから北海道の高等学校の定時制・通信制教育の充実に多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、2020年は未だかつて経験したことがない特別な年となりました。全世界を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大。危機的な事態に直面し予測が極めて困難な中、確かな答えを見いだせない状況が未だ続いています。学校教育においては長期の臨時休業やスクーリングの中止といった対策を余儀なくされる一方、子どもたちの「学びの保障」をどうするかといった問いに直面し、分散登校の実施やリモート学習の試行等それぞれの学校において教職員が英知を絞った取り組みが行われたところです。

また、本部会においても総会や研究協議会が中止となり、さらに全国レベルの大会がすべて中止となり、全道レベルの会議等も中止あるいはリモート開催と、先生方が直接会って意見を交換したり交流したりする場が失われてしまいました。そして今、私たちには、マスクの着用、手洗いや手指消毒の徹底、三密を避けた新しい行動様式が求められています。徐々に日常を取り戻しつつありますが、まだまだ感染の勢いは収まらず、学校においてもクラスターが発生するなど予断を許さない状況が続いています。

こうした制約がある中でも、ひたむきに頑張り自己表現する子どもたちの姿を見ることができました。定時制通信制生徒の「甲子園」とも言われている生活体験発表大会。例年は札幌の教育文化会館で全道大会を開催していますが、今年は感染リスクの観点から映像による審査となりました。画面の向こうに訴えかける生徒の姿に変わりはありませんでした。全国大会は作文審査となり全国の舞台での発表の場はなく残念でしたが、道代表の生徒が入賞したことは私たちに元気と希望を与えてくれました。また、運動系の大会においては支部大会のみの開催となり、各種目とも感染防止のガイドラインに基づいた大会運営が行われ生徒の活動する機会をなんとか作っていただき、ご尽力いただきました関係者の皆様方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

結びになりますが、コロナ禍の中、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われています。目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すという、正に新学習指導要領で育成を目指す資質・能力が今私たちは試されています。皆様のご努力により多様化した生徒の実態や学習ニーズに応える魅力と活力あふれる教育活動が展開され、定時制・通信制教育の一層の充実が図られることを心から期待しております。

令和2年度 事業報告

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会事務局長
北海道千歳高等学校 教頭 笹原 明 男

日頃より事務局の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度の事業につきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画された事業はほぼ中止となりました。会員の皆様におかれましては、書面審議によるご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

● 北海道の事業報告

No.	期日	事業計画	内容及び出席者
1	令和2年 5月18日(月) ※中止	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事会 総会・研究協議会 (会場) ホテルライフオーブ札幌	書面による審議
2	5月18日(月) ※中止	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会 (会場) ホテルライフオーブ札幌	書面による審議
3	6月1日(月) ※中止	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会 (会場) ホテルライフオーブ札幌	書面による審議
4	7月27日(月) ※中止	◆第52回北海道高等学校給食研究協議会北海道大会 (会場) 北海道札幌琴似工業高等学校	書面による審議
5	10月22日(木)	◆第64回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会 (会場) 札幌市教育文化会館	映像と原稿による審議
6	令和2年3月上旬	◆令和2年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容：「新学習指導要領に基づく定時制通信制高校における教育課程について」

● 全国の事業計画

No.	期日	事業計画	内容及び出席者
1	令和2年 5月12日(火) ～13日(水)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会 (会場) 福島県立郡山萌世高等学校(郡山市)	書面による審議
2	6月12日(金) ※中止	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研) (会場) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)	書面による審議
3	6月17日(水) ～19日(金) ※中止	◆第72回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会) (会場) かでの2・7(札幌市)	書面による審議
4	7月30日(木) ～31日(金) ※中止	◆第72回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 総会・教育研究協議会(全教協大会) (会場) ピュアリティまきび(岡山市)	書面による審議
5	8月4日(火) ～5日(水) ※中止	◆第71回全国高等学校定時制通信制教育振興会大会 (全振大会) (会場) ホテルグランテラス(富山県)	書面による審議
6	3の大会を兼ねる ※中止	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(地区通研大会) (会場) かでの2・7(札幌市)	書面による審議
7	11月22日(金) ※中止	◆第68回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会 (会場) 六本木ヒルズハリウッドプラザ(東京都)	内容：原稿による審議
8	12月3日(火) ～4日(水)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会 (会場) かでの2・7(札幌市)	書面による審議
9	12月4日(金) ※中止	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研) (会場) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)	書面による審議

支部だより

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会
空知支部副支部長
北海道滝川高等学校教頭 川口 宏明

1 空知支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定時制通信制部会空知支部は、北海道岩見沢東高等学校・北海道滝川高等学校・北海道天売高等学校・クラーク記念国際高等学校・星槎国際高等学校の道立高校2校、町立高校1校、私立高校2校の計5校で構成されています。北海道高等学校長協会をはじめとした関係各団体からご指導・ご支援をいただきながら支部の活動を実施しています。

支部事業としては、空知管内高等学校定時制通信制教育研究会総会並びに研究協議会の開催、関連事業として、定体連支部大会や生活体験発表支部大会等が実施されています。

2 支部事業

空知管内高等学校定時制通信制教育研究会総会
並びに研究協議会

本研究会は、定時制通信制教育に関する調査研究・研究発表及び情報交換等を通じて、管内の定時制通信制高等学校教育の充実発展を図ることを目的とし、隔年で11月に開催されています。今年度については、開催時期に新型コロナウイルス感染症の感染状況が広がりつつある中でしたが、少人数ということで参加者にもご協力いただき、感染防止対策を講じて開催することができました。

開催日 令和2年11月6日(金)

会場 北海道滝川高等学校大会議室

概要

総会では、平成30年度事業報告・会計決算報告・監査報告の他、令和2年度事業計画案・予算案等についての審議が行われました。その後の講演においては、北海道滝川高等学校 柳本 高秀教頭先生による「新学習指導要領における資質・能力の評価 ～授業における指導と評価の一体化をさらにすすめるために～」という演題で講演していただきました。

ペーパーテストだけでは測ることができない生徒の隠れている様々な能力を測るためには、ルーブリックを活用した学習評価の方法が有効ということです。例えばレポートや実技試験などを実施する前に評価基準を決め、いくつかの段階に分類し評価します。これらは、学習到達度を示す評価基準であると同時に生徒に

対し、加点する評価であるということについて、ワークシートを活用し参加者の意見や質問などを交え、大変わかりやすい内容で講演をしていただきました。

続いて研究協議は、本校継田教諭による「本校における三修制の取組について」という内容で、本校定時制の大きな特色である有朋高校との「定通併修」を活用し3年で卒業が可能となる制度の現状と課題について発表しました。研究協議後、助言者としてご出席いただいた空知教育局教育支援課高等学校教育指導班 山本指導主事より、これからの定時制のあり方等についてご助言をいただき、研究協議会を終えました。

3 支部関連事業

(1) 第64回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会空知大会

開催日 令和2年9月27日(水)

会場 北海道岩見沢東高等学校

概要

北海道岩見沢東高等学校代表3名、北海道滝川高等学校代表2名、北海道天売高等学校代表3名の計8名が参加して熱いスピーチを行い、結果、北海道天売高等学校男子生徒による「両親への感謝」が最優秀賞となり、全道大会へと駒を進めました。

(2) 定通体連空知支部大会(中止)

開催日 令和2年5月31日(日)

会場 北海道滝川高等学校

概要

令和2年度空知支部大会は、滝川高校が当番校として本校体育館を会場に、バドミントン・卓球競技が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

4 まとめ

今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から支部事業や関連事業で、実施できないものもありました。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、再び様々な活動が実施できることを願っているばかりです。

支部だより

北海道高等学校教頭・副校長会定時制通信制部会

釧根支部長

北海道釧路湖陵高等学校教頭 渡邊 理実

1 釧根支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定時制通信制部会釧根支部は、現在、釧路湖陵高等学校と釧路工業高等学校の2校で構成されています。両校の敷地は隣接しており、相互に連携しながら、定体連や生徒生活体験発表大会等の運営を中心に活動しています。

2 支部関連事業

(1) 令和2年度(2020年度)北海道高等学校定時制通信制体育連盟釧根支部予選大会

ア バスケットボール

期 日 令和2年5月16日(土)

会 場 北海道釧路工業高等学校

(新型コロナウイルス感染拡大により中止)

イ バドミントン

期 日 令和2年5月22日(金)

会 場 北海道釧路湖陵高等学校

(新型コロナウイルス感染拡大により中止)

今年度は定体連支部予選大会が中止となり、4年生や三修制の3年生など、最終学年の生徒はとても悔しい思いをしました。バスケットボール部は、感染状況が落ち着いた7月に、2校で交流試合を行いました。引退後も、部活動に参加し、後輩を指導する姿も見られました。

(2) 第64回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会釧根地区予選大会

ア 期 日 令和2年(2020年)9月9日(水)

イ 場 所 北海道釧路工業高等学校(当番校)

ウ 参加数 北海道釧路工業高等学校 1名

北海道釧路湖陵高等学校 2名

エ 結 果

第一席(全道大会出場)

「居場所」

北海道釧路工業高等学校

早坂まゆか

第二席

「わたし」

北海道釧路湖陵高等学校

川島 美涼

第三席

「四年間を通して」

北海道釧路湖陵高等学校

渡邊 久倫

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、発表会の規模を大きく縮小しました。例年は、2校の生徒全員が集まり、代表生徒の発表を聴く機会としていましたが、今年度の参加者は、発表生徒の他には両校の担当教員と3名の審査員のみとしました。さらに、生徒会が企画、運営する交流プログラムも今年度は実施できませんでした。

3 まとめ

今年度はコロナ禍に見舞われ、様々な場面で例年とは異なる対応が求められましたが、2校で連携し、情報を共有しながら教育活動に取り組みました。コロナ禍が終息しても、定時制課程の多様化する教育課題に対して、今年度のように連携して取り組むことが重要だと強く感じました。

支部だより

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会

道北支部長

北海道旭川北高等学校教頭 加瀬谷 嘉 延

1 道北支部の概況

本支部は、北海道高等学校長協会の後援を得て年2回の研究協議会を開催し、高等学校定時制教育に関する諸課題の解決、教育活動の充実に向け、調査、研究及び情報共有を行っています。

旭川東高等学校、旭川工業高等学校、旭川商業高等学校、稚内高等学校、士別東高等学校、幌加内高等学校、旭川北高等学校の7名の会員で構成されています。

研究協議会では、定通体連大会、定通振興会、生活体験発表大会等の事業報告、ならびに事務局、当番校の確認を行い、協議内容に基づいた各校の実践報告を持ち寄って研究協議を進めています。上川教育局からの指導・助言により、各定時制高等学校が抱える課題の解決、教頭としての学校運営に関わる指導力の向上を図っています。

2 支部関連事業

(1) 研究協議会

事業計画等の審議を行い、会務の適正かつ円滑な運営を図るとともに、研究協議や情報交換を通して、学校間の連携・協力体制を密にするとともに、教頭としての資質・能力の向上を図ることを目的に8月と11月の年2回実施しています。

議題・協議内容等は、次のとおりです。

ア 第1回研究協議会

(ア) 開催日 8月7日(金)

(イ) 場 所 旭川トーヨーホテル

(ウ) 内 容 事業報告及び事業計画案協議

令和元年度の事業報告の後、今年度の役員選出、事業計画、関連事業計画、定通部会道北支部各種当番校・事務局校の確認、定通関係諸行事及び会議等の確認を行いました。研究協議では「生徒の実態に応じた教育内容・方法の工夫・改善の推進について」をテーマとして、参加校それぞれの実践等について発表を行い、情報交

換をしました。北海道教育庁上川教育局からの指示・連絡及び指導・助言等をいただき、閉会しました。

イ 第2回研究協議会

(ア) 開催日 11月20日(金)

(イ) 場 所 旭川北高校

(ウ) 内 容 事業報告及び事業計画案協議

今年度の事業の中間報告、次年度事業計画の立案・確認等、「特別な配慮を必要とする障がい等のある生徒への取組」と題しての実践発表を行いました。情報交換の後、北海道教育庁上川教育局からの指示・連絡及び指導・助言等をいただきました。

また、「YELL ～これからの管理職へ～」と題して北海道旭川南高等学校長 田苗隆男様よりご講演も頂戴いたしました。

(3) 第64回道北支部高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

ア 開催日 9月10日(木)

イ 場 所 旭川市大雪クリスタルホール

(当番校) 北海道旭川工業高等学校

ウ 結 果

最優秀賞 北海道旭川北高等学校(全道：特別賞)

優秀賞 北海道旭川東高等学校

優秀賞 北海道幌加内高等学校

本支部大会には6校がそれぞれ2名の代表者を選出し、計12名が発表者として参加しました。発表者の皆さんは、それぞれ自己の体験をわかりやすく表現して、高校生活における体験や将来に向けての抱負等を発表しました。発表内容を全て暗記して発表に臨む代表者もおり、代表者全員が真摯に発表に取り組む姿が印象的でした。

3 統計調査から分かる道北支部の生徒の現状

今年度第2回研究協議会の資料から、3点抜粋してご紹介します。

(1) 定員充足率は、約2割。

夜間定時制5校の平均は22.1%、昼間定時制2校の平均は25.8%です。旭川市内には普通科2校に商業科、

工業科の計4校がありますが、学校間に大きな差はありません。

(2) 生徒の就労状況(夜間定時制)、割合は65%。

旭川市内4校の統計ですが、正規採用及びパート・アルバイトを合わせると、65.5%にのぼります。とはいえ正規職員として働く生徒は1名のみです。

(3) 不登校経験者は6割超に及ぶ

本校(旭川北)のみの調査ですが、在籍生徒のうち中学校で不登校を経験している生徒の割合は、64.1%です。最も割合が高いのは4学年で83.3%に及びます。

5 まとめ

近年ほぼ定員の2割程度の在籍で推移する道北支部の定時制ですが、生徒が抱える課題は多種多様です。入学当初からアルバイト等の仕事に従事する生徒は確かに減少していますが、夜間定時制全体では3人に2人の割合に上り、「働き学ぶ」ことを目標とする生徒が多いことに気づきます。小中学校時代に不登校を経験している生徒も多く在籍しており、「人とのつながり」を得ようと努力する様子が見て取れます。また、他校の高等学校へ入学後、進路変更により転編入学する者など、さまざまな入学動機や学習歴を持つ生徒が数多く在籍しており、各校の教員は個に応じた指導の充実を図ろうと精力的に生徒と向き合っています。

これらに加えて、特別な配慮を必要とする障がい等のある生徒の入学も増えている現状においては、教員個々による研修等のみならず、各校の実践事例等を共有できる研究協議会の必要性は、さらに高まっています。

今年度はコロナ禍の影響により、多くの研究協議会が中止を余儀なくされました。定通部会も各支部が集まる全体会も開催できませんでしたが、本会報などを通じて情報共有を図るとともに各会員の連携をさらに密にして、北海道の定通教育の一層の発展に寄与すべく、道北支部教頭全員が心一つにして職務にあたっています。

全世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、生徒たちは多くの我慢を余儀なくされた1年間でした。4月末には、全国大会の中止が決まり、それを受けて5月には全道大会・支部大会の中止も決まりました。この大会を目標にして、日ごろから練習に打ち込んできた生徒にとっては、とても受け入れがたい現実であったと思います。とても悔しい思いをした生徒、それを受け入れ我慢をした生徒が多くいたことを、事務局としても大変残念に思っています。北海道高等学校定時制通信制体育連盟としての活動も、ほとんどできない状況でした。従って今年度は、例年加入して頂いている「災害補償制度」にも連盟として加入しませんでした。支部大会・全道大会・全国大会が開催されない事から、大会に参加することが不可能となり、今年度に限り加入しませんでした。次年度は、例年通りの大会が開催できるのであれば、加入していただきます。よろしくお願いいたします。

例年、全国大会では北海道チームの大活躍が見られます。全道大会でも多くの感動があります。それらについて事務局(市立札幌大通高等学校)のWebサイト(<http://www.odori-h.sapporo-c.ed.jp/teitairen/>)に毎年掲載していましたが、今年度は大変残念ながら何も掲載できませんでした。次年度は、大活躍と感動を掲載したいと考えています。参加校の生徒及び顧問の先生、各支部事務局校、当番校、専門委員のみなさまには、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

定時制通信制の大会では、記録や勝敗だけにこだわらず、スポーツを愛する心や目標に向かって挑戦すること、お互いの健闘をたたえ合い認め合う、そして交流して友情の輪を広げることを大切にしています。この理念のもと、引き続き各校での部活動へのご指導ご協力をお願い申し上げます。次年度も、よろしくお願いいたします。

**第64回北海道高等学校定時制通信制生徒
生活体験発表大会報告
北海道札幌東高等学校教頭 廣瀬 正幸**

第64回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、従来の札幌市教育文化会館ではなく、札幌東高等学校会議室での開催となりました。

参加生徒は、全道9支部の定時制高等学校の代表生徒10名と通信制高等学校の代表1名、そして当番校である札幌東高等学校よりの1名の合計12名です。ただ、今年度の大会は生徒の肉声による発表ではなく、事前に参加校内で収録されたDVDの画像と音声及び原稿での発表という異例のスタイルで実施されることとなり、果たしてどのような審査結果として反映されるのか一抹の不安がありました。

しかし、いざ発表が開始されると、厳しく困難な状況に逃げることなく努力する生徒一人ひとりのひたむきな思いや家族・先生方への感謝、そして自分自身の夢への挑戦など、画面越しからは確かな勇気と感動がすべての発表から強く感じられました。

例年とは異なる形式での発表ではありましたが、札幌市立大通高等学校長の網谷和彦様を審査委員長とした5名の審査員の皆様により、全国大会の審査基準に準じて2名の北海道代表を選出していただきました。

代表として選ばれた北海道ニセコ高等学校の中鉢蒼さん(3年 演題『私、適当でも大丈夫』)、北海道有朋高等学校の岡田暁子さん(4年 演題『つながり』)は、東京で11月に開催された全国大会での原稿審査に臨み、審査員の方々から高く評価されたと伺っております。



なお、本大会での発表された作品は、「輝く青春」第54集にて全道の定時制通信制高等学校にお届けいたします。是非とも自分自身の境遇に負けずに挑戦する生徒たちの息吹を少しでも感じ取ってくだされば幸甚の限りであります。

最後になりますが、従来の開催形式とは異なる体制での開催に係り、大会にご賛同ご協力いただいた関係者の皆様方をはじめ、全道の定通教育にご尽力くださっている全ての方々に心からお礼申し上げます。

来年度は是非ともコロナ禍が収束され、落ち着いた中での札幌市教育文化会館で本大会が開催されますことを心から祈念申し上げ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

日本放送協会会長賞を受賞された、北海道ニセコ高等学校の中鉢 蒼さんの発表をご紹介します。

「私、適当だって大丈夫」

北海道ニセコ高等学校

3年 中鉢 蒼

「萩原さん」

「はあい！」

生まれてから十二年間は「萩原」と呼ばれた。しかしその呼ばれ方は、酒浸りだった父の命と共に、あっけなく私の世界からなくなってしまった。長女だった私は、周囲の大人たちに「蒼ちゃんはしっかりしてるから、お母さんも安心ね。」とよく言われ、それに応えなければならぬと思うようになっていた。ストレスからくる

爪を噛む癖は私の両手を無意識のうちに深爪にした。

「石橋」

「はい」

中学に上がると、母の旧姓を名乗ることになった。周囲の気を使うような目線にも息が詰まった。そんな中、母の再婚話が浮上した。新たに3人の兄弟ができ、私たちは5人兄弟になる。しかも、その一人はよく知っている同級生だった。私はこの再婚話に猛反対した。「再婚をみんなに知られたくない。新しい変化なんていらない。」14歳の心には重すぎる現実だった。

「中鉢」

「はい」

高校入学と同時に母は再婚。こうなると自分にとっては「苗字」の意味も価値もなくなり、記号としての役割しか果たさないようになっていた。ストレスで髪の毛がどっさりと抜け落ち、体重は3か月で10キロも落ちた。息苦しさも増すばかり。兄弟間で立て続けに問題が起こり、3年経った今でもまだ気安く口を利けずにいる。

「子連れ再婚をした家族」を意味する、「ステップファミリー」という言葉を高校の家庭総合の授業で知った。私たち家族は周りとは異なる形態だということは実感していたが、一つの家族の在り方として認められている。そのことが私を安心させてくれた。そして、苗字は、自分が家族の一員であるということを強く意識させてくれる。それは家族の絆を保つためにやはり必要なのだと感じた。

高校一年生の頃の私は酷い目つきをしていたと我ながら思うし、実際よく友人たちから「蒼、目が怖い」と言われた。それを隠すために伊達眼鏡をかけ始めた。反射の強い眼鏡レンズが、私の息苦しさを少しだけ楽にしてくれていた。

眼鏡をかけ始めたのと同じ時期、総合実習の授業の一環である専攻班活動が始まった。専攻班とは、グループに分かれて、地域課題の解決やそのための研究活動を行う学習で、全校に活動を報告する機会が年に何度かある。

一年次から個人でやっていた小さなプロジェクト活動が、やがて私の所属する班全体で取り組む主軸となり、私が班長を務めることになった。しかし私は、断ら

れることに怯え、人に頼ることができず、一人で仕事を抱え込むようになった。

二回目の報告会。原稿書きから、スライド作成、発表までのすべてを掛け持ちしようとした。しかし、到底間に合うわけがない。

おまけに、活動報告会当日、スライド用のUSBが破損して完成データが飛ぶというトラブルに見舞われた。古いデータを使って何とかスライドを作り直そうとした。昼食も取らずに半べそをかきながらパソコンに向かう私を見て、班員たちはきっと情けなく思ったのだろう。ついに泣き出してしまった私を抱きしめ、「一人でそんなに抱え込みすぎなくていいんだよ。もっと私たちを頼っていいんだよ。」と言ってくれた。そう言われた瞬間、涙が溢れ出た。そして、涙と一緒に、今まで抱えてきた暗く重たいものが流れ出たような気がした。

私は、仲間たちとあえて距離を取り、頼らないことで自分の心を守ろうとしていた。しかし、それは結果的に仲間たちを傷つけ、自分自身も傷つけていたことを知った。

「頼っても良かったんだ。甘えてもいいんだよ。」私の中でその気持ちは驚くほどずとんと落ちた。呼吸がずっと軽くなった。

この出来事以降、私は高校生活を送る中で、何に対しても少し「適当」になったように感じる。それは「いい加減」という意味ではなく、「完璧を求めすぎない」ということ。そばにいてくれる仲間がいるのだから頼ってもいい、支えてくれる人がいるのだから甘えてもいい。その事実が、私を生きやすくし、「適当」にしてくれた。

苗字が変わるたびに自分の存在意義を否定されたように感じ、母の再婚による環境の変化に心を病んだ。しかし、その変化は仲間との新しい関係性をもたらしてくれた。自分の悩みや問題を相談できるようになった。新しい兄弟に対する意識もよいほうに変化しつつあるのも間違いない。

「中鉢」

「はい！」

私はもう息苦しさを感ぜない。

令和2年度北海道高等学校教頭・副校長会定時制通信制部会調査研究報告
令和4年度実施予定の新学習指導要領に基づく定時制通信制高校における教育課程について
 ～ 各校の教育課程分析・研究へのスタートに向けて ～

定時制通信制部会調査研究部

調査研究部長 廣瀬 正幸（北海道札幌東高等学校）

調査研究部員 伊東 文人（北海道札幌南高等学校）

調査研究部員 木村 成一（北海道札幌月寒高等学校）

1 はじめに

令和2年(2020年)は、世界中を席卷した「コロナウイルス」感染予防への対応に終始した1年であった。学校現場は、生徒の生命・安全確保を第一義としながらも、学習の保障の確保に係る様々な取組にも全力を注ぎ、生徒の学習内容の充実に努めたと思われる。また一方では、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される生徒に、生きる力を育むことを目指す」ための教育活動の充実を目指して、令和4年(2022年)から実施される学習指導要領に基づく教育課程の編成が多くの高等学校で検討された。

個々の高等学校が、どのような知識・技能を、どのように生徒に身につけさせ、将来どのように活用させたいのかを生徒や地域の実態からの確に把握し、豊かな人生の実現と次代の社会の形成に向けた現代的な諸課題に対して対応が可能となる資質・能力を育成することが、今求められている。

そこで、各校の「令和4年度入学者教育課程表(A表)」の状況をまず共有することが必要であると考えた。その状況を踏まえていくことから、次年度以降現状の定時制・通信制高等学校の在り方や今後の方向性を探る様々な取組の前段としての位置づけになればと考え、今回の調査・研究の実施となった次第である

2 調査の概要

調査は、北海道高等学校教頭・副校長会定時制通信制部会に加盟する全43校に対し、令和2年(2020年)11月2日(月)から同年11月13日(金)に各校が令和4年から実施される予定の「入学者教育課程表(A表)」の提出を求めたものである。結果、34校からの提出を受けた(回収率79.0%)。この提出された「A表」を調査研究部会で検討して、以下の報告としたい。

※ なお、北海道東藻琴高等学校は令和3年度に北海道大空高等学校全日制課程への併合を予定しており、同校のデータは本調査からは外している。

3 全国的な定時制・通信制高等学校の現状(令和元年度(2019年度))について

(令和2年5月21日 文部科学省初等中等教育局発表資料より)

まず、様々な観点から現状の定時制・通信制高等学校の状況を明らかにしていきたい。

(1) 学校数について

	(全日制課程・定時制課程) (校)				(通信制課程) (校)				
	国立	公立	私立	総数		国立	公立	私立	総数
全 日 制	15	2,938	1,295	4,248	独立校	0	7	106	113
定 時 制	0	164	4	168	併置校	0	71	69	140
全定併置	0	448	23	471	総計	0	78	175	253
総 計	15	3,550	1,322	4,887					

(出典 文部科学省「学校基本調査」)

高等学校の学校数は、全日制高校が「4,719」校(全体の84.1%)、定時制課程が「639」校(全体の11.4%)、通信制課程が「253」校(全体の4.5%)となっており、定時制・通信制高等学校は全国の高等学校の「2割弱(全体の15.9%)」を占めている。

(2) 学校数の推移について

定時制課程を置く学校の推移数

年度	学校数	増減
S 23	1,193	0
S 30	3,188	+ 1,995
H 元	1,002	- 2,186
H 10	892	- 110
H 20	754	- 138
H 30	639	- 115

通信制課程を置く学校の推移数

年度	学校数	増減
S 23	83	0
H 10	100	+17
H 20	197	+97
H 30	252	+55

(出典 文部科学省「学校基本調査」)

定時制課程を置く学校の推移数は、昭和30年度の「3,188」校をピークに減少の一途を辿っている。過去に定時制課程が若年労働者の学力保障を担っていたことを考察すれば、「金の卵」としての労働力を期待されていた昭和30年代に学校数が大幅に増加し、時代が変化した平成時代にはほぼ増加数と同数の学校が減少したことが象徴的である。現在は「不登校生徒」や「学び直し生徒」、「生涯学習」の学力保障の役割を新たに加えながらも、減少傾向は止まっていない。一方、通信制課程は学習に対する生徒のニーズの多様化を踏まえながら、その役割に対する重要性和相まって、平成に入ってから増加傾向が著しくなっている。

(3) 在籍生徒数について

(人)

	国立	公立	私立	総数	
全日制	8,476	2,052,788	1,025,170	3,086,434	91.7%
定時制	0	79,290	2,645	81,935	2.4%
通信制	0	56,373	141,323	197,696	5.9%
総計	8,476	2,188,451	1,169,138	3,366,065	

※ 専攻科・別科に属する生徒数を含む

(4) 定時制課程の生徒の状況等について

① 生徒の就業状況の変化

	昭和57年度	平成6年度	平成28年度
正社員	68.4%	34.7%	2.2%
パート等	14.3%	35.2%	46.2%
無職	17.3%	30.1%	51.6%

② 在籍する生徒の実態

小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒	39.1%
外国とつながりがある(外国籍・日本語を母国語としない)生徒	6.6%
ひとり親家庭の生徒	36.9%
非行経験(刑法犯罪等)を有する生徒	7.7%
特別な支援を必要とする生徒	20.1%
心療内科等に通院歴のある生徒	9.2%

前述した定時制の役割の変化により、就職している生徒の割合よりも無職の生徒の割合が増加してきている。つまり、勤労青少年の学力保障に加えて、中学校時等の不登校等や高等学校を中途退学した生徒等の学び直しが必要とされる現状を示している。

また、不登校経験生徒やひとり親家庭の生徒の在籍が約4割に達するなど、様々なハンデキャップを背負った生活環境が浮き彫りとなっている。さらに、特別支援や心身の支援の必要性を抱えるとともに、日本語教育が必要な外国籍等の生徒の在籍なども散見されるなど、多様なニーズに応えられる対応が求められている。

(5) 通信制課程の生徒の状況等について

① 生徒の就業状況の変化

	昭和 57 年度	平成 6 年度	平成 28 年度 狭域通信制	平成 28 年度 広域通信制
正社員	61.3%	29.3%	8.3%	6.3%
パート等	6.5%	24.3%	37.0%	23.4%
無 職	32.2%	46.4%	52.5%	68.2%

※ 広域通信制とは、3以上の都道府県において生徒募集を行うものを指す。

② 在籍する生徒の実態

	狭域通信制	広域通信制
小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒	48.9%	66.7%
外国とつながりがある(外国籍・日本語を母国語としない)生徒	2.8%	2.4%
ひとり親家庭の生徒	26.9%	18.7%
非行経験(刑法犯罪等)を有する生徒	2.1%	4.1%
特別な支援を必要とする生徒	11.8%	3.0%
心療内科等に通院歴のある生徒	11.0%	4.8%

通信制課程の状況は、定時制課程の特徴がより顕著になったと考えられる。つまり、「小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒」の割合が、定時制課程の約1割増(広域通信制に至っては3割弱の増加)となっており、登校自体が困難であると判断される生徒たちに対する救済的な教育機関の役割を担っている特徴が顕著である。

なお、通信制課程の年齢別生徒数の割合について、令和元年5月1日現在では15歳が19.0%、16歳が24.8%、17歳が29.9%、18歳が8.1%、19歳が3.9%、20歳～24歳が8.2%、25歳以上が6.1%となっており、全体として若年化の傾向にある。また、公立の通信制課程の方が多様な年齢層の生徒が学習している傾向にある。 ※ 文部科学省「学校基本調査」より

4 各教科科目等の設置状況について

(1) はじめに

前章において、現状の定時制・通信制高等学校の現状について述べさせていただいた。現状の定時制・通信制高等学校が置かれている生徒の状況、学校の状況を踏まえて、これらの様々な要因を鑑みていただきたい。それでは、北海道内の定時制・通信制高等学校が生徒に対して、前述した「どのような知識・技能を、どのように生徒に身につけさせ、将来どのように活用させたいのか」という観点を分析・検討するにあたり、各高等学校の「令和4年度入学者教育課程表(A表)」の状況を以下に記させていただく。なお、今回の調査は「各学科に共通する各教科」「学校設定科目」「学校設定教科」「普通科等に設定されている「専門学科において開設される科目」」に限定して実施した。職業学科の専門教科科目及び全学科における商業の教科科目(学校設定科目は除く)に関しては、次年度以降の調査研究に譲らせていただくことを予めご承知おき願いたい。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
現代の国語	②	20	6	8	3	2		3
言語文化	②	7	1	17	6	2	1	1
論理国語	4					2 (1)	1	1
文学国語	4			1 (1)		9	2	8
国語表現	4					9	3	10
古典探求	4					(2)		

(国語科に係る学校設定科目)

二セコ(国語教養 2単位 3年)	旭川工業(実用国語 1単位 3年)
天売(国語探求 2単位 3年)	網走南ヶ丘(実用国語 1単位 1～3年)
幌加内(実用国語 2単位 3年)	日高(作品購読 1単位 2～3年)
留寿都(現代文読解 2単位 3年)	市立札幌大通(生活国語 1単位 2～3年)
旭川北(国語教養基礎 1単位 4年)	

※1 ()は、四年制の高校において、三修制の生徒が選択履修する科目である。なお、調査段階で三修制の生徒が選択履修する科目が決定していない四修制の高校については、()に含めていない(以下同様)。

「現代の国語」

- 1年での履修 . . . 18校
- 1・2年での分割履修 . . . 7校(1～2単位増単で実施)
- 2年での履修 . . . 4校
- 3・4年での分割履修 . . . 2校
- 4年での履修 . . . 1校

「言語文化」

- 1年での履修 . . . 6校
- 1・2年での分割履修 . . . 2校(1～2単位増単での実施校あり)

- 2年での履修 . . . 21校
- 3年での履修 . . . 2校
- 3・4年での分割履修 . . . 1校(1～2単位増単での実施校あり)

「論理国語」

- 2・3年での分割履修 . . . 1校(1～2単位増単で実施校あり)
- 3年での履修 . . . 2校
- 3・4年での分割履修 . . . 1校(1～2単位増単で実施校あり)

「文学国語」

- 2年での履修 . . . 2校
- 2・3年での分割履修 . . . 1校
- 3年での履修 . . . 3校
- 3・4年での分割履修 . . . 7校(1～2単位増単で実施校あり)

「国語表現」

- 3年での履修 . . . 3校
- 3・4年での分割履修 . . . 9校
- 4年での履修 . . . 1校(1単位減で実施)

「古典探求」

- 3年での履修 . . . 2校

なお、「市立札幌大通高」は「現代の国語」「言語文化」を1～4年時に必履修、「論理国語」「文学国語」「古典探求」を選択履修としている。

② 地理歴史科

(留意点)

- ・必履修科目は、「地理総合」「歴史総合」の2科目(いずれも2単位)とする。
- ・選択科目「地理探求」「日本史探求」「世界史探求」(以上3単位)は、必履修科目を履修後に履修可能である。

(設置状況)

学年 科目 標準単位		1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
地 理 総 合	②	7	4	13	4	4		
地 理 探 求	4			(2)		(1)		
歴 史 総 合	②			1	1	19(1)	6	4
日 本 史 探 求	4							1
世 界 史 探 求	4					(1)		1

(学校設定科目)

な し

「地理総合」		3年での履修	・・・	4校
1年での履修	・・・	11校		
2年での履修	・・・	17校		
「地理探求」		3年での履修	・・・	1校
2年での履修	・・・	2校		
「歴史総合」		3年での履修	・・・	26校
2年での履修	・・・	2校		
4年での履修	・・・	4校		
「日本史探求」		4年での履修	・・・	1校
4年での履修	・・・	1校		
「世界史探求」				
3年での履修	・・・	1校		

なお、「市立札幌大通高」は「地理総合」「歴史総合」を1～4年時に必履修、「地理探求」「日本史探求」「世界史探求」を選択履修としている。

③ 公民科

(留意点)

- ・必履修科目は「公共」の1科目(2単位)とする。
- ・選択科目「倫理」「政治経済」(以上2単位)は、必履修科目を履修後に履修可能である。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1年		2年		3年		4年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
公 共	②	16	3	10	3		1	
倫 理	2			(2)		(1)		1
政 治 経 済	2	(1)		(1)	1	1 (2)	2	18

(学校設定科目)

な し

「公共」

1年での履修	・・・	18校	1・2年での分割履修	・・・	1校
			(2単位増単で実施)		
2年での履修	・・・	12校	3年での履修	・・・	1校

「倫理」

2年での履修	・・・	2校	3年での履修	・・・	1校
4年での履修	・・・	1校			

「政治経済」

1・2年での分割履修	・・・	1校	2年での履修	・・・	1校
3年での履修	・・・	5校	4年での履修	・・・	18校

なお、「市立札幌大通高」は「公共」を1～4年時に必履修、「倫理」「政治経済」を選択履修としている。

④ 数学科

(留意点)

- ・必履修科目は「数学Ⅰ」の1科目(3単位)とする。
- ・「数学Ⅲ」が5単位から3単位に変更。
- ・「数学C」が新設され、ベクトルは「数学C」へ移動。
- ・「数学B」「数学C」の並行履修、「数学B」を履修しなくとも、「数学C」を履修することを可とする(ただし、「数学Ⅰ」履修後とする)。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1年		2年		3年		4年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
数 学 Ⅰ	③	23(1)	8	21	6	2		
数 学 Ⅱ	4			(2)	2	5 (2)	5	5
数 学 Ⅲ	3							
数 学 A	2			2	2	13	4	13
数 学 B	2						1	
数 学 C	2							

(数学科に係る学校設定科目)

旭川工業(基礎数学 2単位 3学年)	遠軽(高校数学入門 1単位 1～3学年)
旭川北(生活の数学 2単位 3学年)	幌加内(実用数学 2単位 3学年)
網走南ヶ丘(学校設定科目 数学1単位1～3学年・高校数学入門 1単位 1～3年)	市立札幌大通(数学工房 1単位 選択)
	〃 (数学Ⅰ演習 1単位 選択)
	〃 (数学A演習 1単位 選択)

「数学Ⅰ」

1学年での履修	・・・	5校	1・2学年での分割履修	・・・	25校
1～3学年での履修	・・・	1校	(2～3単位増単での実施校あり)		
			2・3学年での履修	・・・	1校

「数学Ⅱ」

2学年での履修	・・・	2校	2・3学年での分割履修	・・・	2校
3・4年での分割履修	・・・	5校			

「数学A」

2学年での履修	・・・	2校	2・3学年での分割履修	・・・	2校
3学年での履修	・・・	2校	3・4学年での分割履修	・・・	13校
(2～3単位増単での実施校あり)					

「数学B」

4学年での履修	・・・	1校
---------	-----	----

なお、「市立札幌大通高」は「数学Ⅰ」を1～4年時に必履修、「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」を選択履修としている。

⑤ 理科

(留意点)

- ・必履修科目は、「基礎」を付した科目のうちの3科目、または「科学と人間生活」に1科目とする。
- ・4単位の選択科目は、それぞれに対応する基礎を付した科目の履修後に履修が可能。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1年		2年		3年		4年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
科学と人間生活	②	15	8	2 (1)	1	1		1
物理基礎	②			3 (1)		4		4
物理	4							
化学基礎	②	1		6		9 (1)	1	5
化学	4							
生物基礎	②	3		6 (2)	5	8 (1)	1	2

生物	4			(1)				
地学基礎	②	2		2 (1)	1	1 (1)	1	6
地学	4							

(理科に係る学校設定科目)

旭川北(生物研究 2単位 4年) 網走南ヶ丘 (自然科学入門 1単位 1～3年) 市立札幌大通(サイエンス実験入門 1単位)	市立札幌大通(動物の生態 1単位) " (フィールド科学 1単位)
---	--------------------------------------

「科学と人間生活」

1学年での履修 . . . 21校	1・2学年での分割履修 . . . 2校
2学年での履修 . . . 2校	3学年での履修 . . . 1校
4学年での履修 . . . 1校	

「物理基礎」

2学年での履修 . . . 3校	2・3学年での分割履修 . . . 1校
3学年での履修 . . . 3校	4学年での履修 . . . 4校

「化学基礎」

1学年での履修 . . . 1校	2学年での履修 . . . 6校
3学年での履修 . . . 10校	3・4学年での分割履修 . . . 1校

4学年での履修 . . . 4校

「生物基礎」

1学年での履修 . . . 3校	2学年での履修 . . . 13校
2・3学年での分割履修 1校	3学年での履修 . . . 9校
4学年での履修 . . . 2校	

「生物」

2学年での履修 . . . 1校

「地学基礎」

1学年での履修 . . . 2校	2学年での履修 . . . 3校
3学年での履修 . . . 3校	4学年での履修 . . . 6校

なお、「市立札幌大通高」は「科学と人間生活」と「基礎を付した科目」2科目を選択必修科目とし、「4単位の選択科目」を選択履修させている。

⑥ 保健体育科

(留意点)

・必修科目は、「体育」(7～8単位)及び「保健」(2単位)とする。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
体 育	⑦~⑧	21 (4)	7	21 (4)	7	21 (4)	7	21
保 健	②	21 (4)	7	21 (4)	7			

(保健体育科に係る学校設定科目)

市立札幌大通(基礎体力づくり 1単位)

「体育」

1～4学年での分割履修・・・21校 1～3学年での分割履修 ……11校

「保健」

1・2学年での分割履修・・・32校

なお、「市立札幌大通高」は「体育」(7単位)及び「保健」(2単位)を必履修とし、「体育」(1単位)を選択履修させている。

⑦ 芸術科

(留意点)

・必履修科目は、「音楽Ⅰ」(2単位)「美術Ⅰ」(2単位)「工芸Ⅰ」(2単位)及び「書道Ⅰ」(2単位)の中から一科目とする。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
音 楽 Ⅰ	②		3 選 1	1 選 2		2 選 2		選 1
音 楽 Ⅱ	2				1		選 1	
音 楽 Ⅲ	2							
美 術 Ⅰ	②	1	選 1		選 1	3 選 1		
美 術 Ⅱ	2							2
美 術 Ⅲ	2							
工 芸 Ⅰ	②		1				選 1	
工 芸 Ⅱ	2							
工 芸 Ⅲ	2							
書 道 Ⅰ	②	4	選 1	6 (1)	1	8 (1)選 1	1	
書 道 Ⅱ	2							選 1
書 道 Ⅲ	2							

(芸術科に係る学校設定科目)

市立札幌大通(器楽表現 1単位)	"	(生活に生きる書 1単位)
" (絵画入門 1単位)	"	(実用書道 1単位)

「音楽Ⅰ」

1学年での履修 . . . 4校 (他科目との選択1校)	2学年での履修 . . . 3校 (他科目との選択2校)
3学年での履修 . . . 4校 (他科目との選択2校)	4学年での履修 . . . 1校 (他科目との選択)

「音楽Ⅱ」

2学年での履修 . . . 1校	3学年での履修 . . . 1校 (他科目との選択)
------------------	-------------------------------

「美術Ⅰ」

1学年での履修 . . . 2校 (他科目との選択1校)	2学年での履修 . . . 1校 (他科目との選択)
3学年での履修 . . . 4校 (他科目との選択1校)	

「美術Ⅱ」

4学年での履修 . . . 2校

「工芸Ⅰ」

1学年での履修 . . . 1校	3学年での履修 . . . 1校 (他科目との選択)
------------------	-------------------------------

「書道Ⅰ」

1学年での履修 . . . 2校 (他科目との選択1校)	1・2学年での分割履修 . . . 3校
2学年での履修 . . . 5校	3学年での履修 . . . 11校 (他科目との選択1校)

「書道Ⅱ」

3学年での履修 . . . 1校(他科目との選択)

なお、「市立札幌大通高」は「音楽Ⅰ」(2単位)「美術Ⅰ」(2単位)「工芸Ⅰ」(2単位) 及び「書道Ⅰ」(2単位)は選択必履修とし、他のそれぞれの科目は選択履修させている。

⑧ 外国語科(英語科)

(留意点)

- ・必履修科目は、「英語コミュニケーションⅠ」(3単位)とする。
- ・選択履修科目「論理・表現ⅠⅡⅢ」(それぞれ2単位、合計6単位)は、旧「英語表現Ⅱ」(4単位)が「論理・表現ⅡⅢ」(それぞれ2単位、合計4単位)に分割された。

(設置状況)

科目 標準単位	学年	1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
英語コミュニケーションⅠ	③	22 (2)	6	23 (1)	4	5		
英語コミュニケーションⅡ	4			2 (1)	2	15 (3)	2	11
英語コミュニケーションⅢ	4							
論理・表現Ⅰ	2		1		2 選1	2 (3)	2 選1	4
論理・表現Ⅱ	2							
論理・表現Ⅲ	2							
総合英語	3~7					選1		選1

※3 「選」は他の教科科目との選択履修を表す。

(外国語科(英語科)に係る学校設定科目)

旭川北(総合英語購読 2単位 4年)	網走南ヶ丘(英語ベーシック 1単位 1~3年)
二セコ(観光英語 2単位 2年)	市立札幌大通(実践英語 2~4単位)
留寿都(実用英語 2単位 3年)	'' (異文化理解 2~6単位)
遠軽	'' (生活・LL英語 2単位)
(英語ベーシック 1単位 1~3年)	

「英語コミュニケーションⅠ」

1学年での履修	・・・ 3校	1~2学年での履修	・・・ 24校
			(1~2単位増単で実施)
1~3学年での履修	・・・ 2校	2・3学年での履修	・・・ 3校
	(1~3単位増単で実施)		

「英語コミュニケーションⅡ」

2学年での履修	・・・ 1校	2~3学年での履修	・・・ 4校
3学年での履修	・・・ 3校	3~4学年での履修	・・・ 11校

「論理・表現Ⅰ」

1 学年での履修	・・・	1 校	2 学年での履修	・・・	1 校
2・3 学年での履修	・・・	2 校	3 学年での履修	・・・	5 校
(他科目との選択 1 校)					
3・4 学年での履修	・・・	2 校	4 学年での履修	・・・	2 校

「総合英語」

3・4 学年での履修	・・・	1 校
(他科目との選択)		

なお、「市立札幌大通高」は「英語コミュニケーションⅠ」(3単位)を必履修科目とし、他のそれぞれの科目は選択履修させている。

⑨ 家庭科

(留意点)

- ・必履修科目は、「家庭基礎」(2単位)もしくは「家庭総合」(4単位)とする。

(設置状況)

科目	学年 標準単位	1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
家庭基礎	②	4	3	9 (2)		1		
家庭総合	④	6	2	9	2	5 (1)	1	2
保育基礎	2~6					1 (1)	1	
フードデザイン	2~8				2		2	3
食文化	1~2						1	

(家庭科に係る学校設定科目)

市立札幌大通(手芸 1単位)

「家庭基礎」

1 学年での履修	・・・	7 校	2 学年での履修	・・・	11 校
3 学年での履修	・・・	1 校			

「家庭総合」

1・2 学年での分割履修	・・・	7 校	2・3 学年での分割履修	・・・	3 校
1~3 学年での分割履修	・・・	1 校	3 学年での履修	・・・	1 校
2~4 学年での分割履修	・・・	1 校	3~4 学年での分割履修	・・・	1 校

「保育基礎」

3学年での履修 …… 3校

「フードデザイン」

2学年での履修 …… 2校 3学年での履修 …… 2校

4学年での履修 …… 3校

「食文化」

3学年での履修 …… 1校

なお、「市立札幌大通高」は「家庭基礎」(2単位)を必修科目とし、それぞれ他の科目 (は選択履修させている。

⑩ 情報科

(留意点)

- ・必修科目は、「情報Ⅰ」(2単位)とする。
- ・選択科目「情報Ⅱ」(2単位)は、「情報Ⅰ」履修後に履修が可能である。

(設置状況)

学年 標準単位		1 年		2 年		3 年		4 年
		四年制	三修制	四年制	三修制	四年制	三修制	
情報Ⅰ	②	9 (3)	3	5	2	2		1
情報Ⅱ	2							

※4 「情報Ⅰ」は職業学科では、専門教科で代替履修が可能となっている。

(学校設定科目)

なし

「情報Ⅰ」

1学年での履修 …… 14校 1・2学年での分割履修 …… 2校

2学年での履修 …… 4校 2～4学年での分割履修 …… 1校

3学年での履修 …… 1校

なお、「市立札幌大通高」は「情報Ⅰ」(2単位)を必修科目とし、「選択Ⅱ」(2単位)を選択履修させている。

(3) 特色ある学校設定科目他

学校においては、生徒や地域の実態及び学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、「各学科に共通する各教科」及び「主として専門学科において開設される各教科・科目」について、これらに属する科目以外の科目、教科以外の教科及び当該教科に関する科目を設けることができる。これらが所謂「学校設定科目」「学校設定教科」である。

この項では、「学校設定科目」「学校設定教科」及び「各校の当該教科・科目及び普通科等に設定されている「専門学科において開設される科目」」について記させていただく。

① 「学校設定科目」「学校設定教科」について

教科・科目名	履修形式	学校名	履修単位数	履修学年
産業社会と人間(産業学習)	必履修	苫小牧東	2	3~4 学年
ベシックスタディ(総合)	"	札幌南	2	1 学年
"	"	釧路湖陵	2	1・2 学年
"	"	士別東	6	1~3 学年
"	"	幌加内	1	1 学年
ボランティア(総合)	選択	札幌月寒	3	2~3 学年
"	"	遠軽	3	1~3 学年
企業実習(総合)	"	札幌月寒	3	1~3 学年
"	"	遠軽	3	1~3 学年
"	"	日高	3	1~3 学年
天売学(総合)	必履修	天売	3~4	1~4 学年
農業体験実習(農業)	"	幌加内	3	1~3 学年
そば(農業)	"	"	6~14	1~4 学年
簿記会計(商業)	選択	室蘭栄	2	4 学年
電卓基礎計算(商業)	必履修	札幌西	2	2 学年
観光総合(商業)	"	二セコ	3	3 学年
グローバル探求(商業)	"	"	3	3 学年
キャリア体験(産業学習)	"	幌加内	1	2 学年
六次産業化概論Ⅰ(産業学習)	"	"	1	1 学年
六次産業化概論Ⅱ(産業学習)	"	"	2	2~3 学年
六次産業化実践(産業学習)	"	"	3	1~3 学年
日高の文化Ⅰ(産業学習)	"	日高	1	1 学年
日高の文化Ⅱ(産業学習)	"	"	1	2 学年
日高の文化Ⅲ(産業学習)	"	"	1	3 学年

日高の体験Ⅰ(産業学習)	〃	〃	1	1 学年
日高の体験Ⅱ(産業学習)	〃	〃	1	2 学年
日高の体験Ⅲ(産業学習)	〃	〃	1	3 学年
日高のスキー(産業学習)	〃	〃	6~15	1~3 学年
アウトドア探求Ⅰ(産業学習)	〃	〃	3	1 学年
アウトドア探求Ⅱ(産業学習)	〃	〃	3	2 学年
アウトドア探求Ⅲ(産業学習)	〃	〃	3	3 学年

② 「各校の当該教科・科目及び普通科等に設定されている「専門学科において開設される科目」について

教科・科目名	履修形式	学校名	履修単位数	履修学年
理数探求基礎(理数)	必履修	北見北斗	2	4 学年
介護福祉基礎(福祉)	〃	士別東	4	2~3 学年
水産海洋基礎(水産)	〃	天売	3~4	1~4 学年

5 おわりに

今年度、北海道には定時制高等学校に「3,381名」、通信制高等学校に「3,119名」、合計で「6,500名」の生徒が、一人ひとりの厳しい状況の中で学びの志をもって、日々通学している。(「令和2年度 全国定時制通信制高等学校基本調査」より)彼らの持つ様々な学習に対するニーズを踏まえつつ、新しい学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、新たな教育活動の構築を図るとともに授業改善に取り組みなくてはならない。さらには、世界中を席卷している「新型コロナウイルス」感染予防への対応が叫ばれている。冒頭に述べさせていただいたように、今年度は次年度以降現状の定時制・通信制高等学校の在り方や今後の方向性を探る様々な取組の前段としての位置づけを目的として、今回の調査に取り組んだものである。

今回の調査内容が、来年度以降の新たな定時制・通信制高等学校の教育の方向性や教育実践の質的な向上や新たな実践の構築につながることを祈念して、筆を擱かせていただきたい。

なお、末文であるが、諸業務で多忙の中、資料提供等やご助言、ご協力いただいた道内全ての定時制・通信制高等学校の教頭・副校長先生方に、心よりお礼申し上げます。

令和3年度定通部会 事業計画（案）

● 北海道の事業計画

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和3年 6月（未定）	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事会 総会・研究協議会	ホテルライフオート札幌
2	6月（未定）	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	ホテルライフオート札幌
3	6月（未定）	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	北海道有朋高等学校
4	7月（未定）	◆第53回北海道高等学校給食研究協議会北海道大会	北海道札幌琴似工業高等学校
5	10月（未定）	◆第65回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体 験発表大会	北海道札幌西高等学校
6	令和4年 3月上旬	◆令和3年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	

● 全国の事業計画

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和3年 5月20日（木） ～21日（金）	◆第69回全国定時制通信制高等学校長会 総会・研究協議会	東京
2	6月4日（金）	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会（全教協理事研）	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
3	6月16日（水） ～18日（金）	◆第73回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会（全通研大会）	東京
4	7月29日（木） ～30日（金）	◆第72回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 総会・教育研究協議会（全教協大会）	アルカスSASEBO（佐世保市） （長崎県立佐世保中央高等学校）
5	8月（予定）	◆令和3年度全国高等学校定時制通信制体育大会	東京ほか
6	10月21日（木） ～22日（金）	◆第72回全国高等学校定時制通信制教育振興会大会 （全振大会）	苫小牧市
7	※未定	◆第69回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	東京
8	※未定	◆第32回全国単位制高等学校校長等連絡協議会	令和4年度開催
9	12月（予定）	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会（全教協理事研）	東京

《編集後記》

定通部会広報部の業務にご理解とご協力いただきありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止となる中、校長協会定通部会長の元紺谷校長先生をはじめ、全道の副校長・教頭先生方にご執筆いただきましたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、本年度の「会報」も無事発行の運びとなりました。WEB更新にあたりご協力いただきました、有朋高等学校の諸先生方にあらためて感謝申し上げ、編集終了のあいさつとさせていただきます。[北海道恵庭南高等学校教頭 国 枝 拓]